

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

- (1)2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たな「競技用靴に関する規程」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になる。競技後にシューズの違反が認められた場合は審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは招集時に行う。)

靴底の厚さに関する規程(TR5.2)表 ※2024年10月31日まで

種 目	靴底最大の厚さ TR5.5、TR5.2	要 件 ・ 備 考
フィールド競技 (除: 三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

なお、本記録会は全フィールド種目で「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規程を適用除外する。

(2) イエローカード(以下、YC)について

- ①WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19 に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算は無く、種目ごとに累積しリセットする。
- ②同一種目での2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。

(3) 招集所及び競技エリア内で携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を所持または使用することはできない(TR6.3.2)。

2. 競技場への入場について

競技者・付添等の関係者は指定された出入口(1F正面玄関・2F正面)から入退場すること。入場証は不要とするが各校顧問が入場者の把握に努めることとする。観戦は学校関係者のみとし、各校との関係について確認を取ることがある。

3. 競技場の使用について

- (1) 横断幕、ノボリの設置は南北の芝スタンド(土盛スタンド)後方およびバックスタンド後方のみとする。
- (2) テントの設置について
 - ①正面の階段スタンドには設置しないこと(学校単位での場所取りは禁止)。
 - ②テントは芝生スタンドに設置し、ロープ等が通路にかからないようにすること。
- (3) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (4) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (5) 更衣室は10名以内で更衣のみの利用とする。使用時間は1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

4. 練習について

- (1) 練習中の走る方向は競技会と同じ方向への一方通行とし逆走は禁止。学校・個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技場内および公園内でのメディシンボールなどの物を投げる練習は一切認めない。
- (3) 走高跳、走幅跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (4) 競技開始前のトラックでの練習は次のとおりとする。

競技開始前の競技場での練習について

競技会開始前の競技場（トラック）での練習は、周囲の動きに十分注意して行うこと。
ただし、練習可能時間内であっても競技会準備を優先とし、競技役員の指示に従うこと。
なお、競技場での練習は、1日目・2日目ともに8時30分までとする。
なお、安全のため日傘の使用を禁止する。

※いずれもジョグはレーン外で ・ 1、2レーンは長距離ペース走用

【1日目】

○ホームストレート

3～7レーン = 直線からのスプリント練習

8レーン = 100mH 9レーン = 110mH

○バックストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～9レーン = リレー練習

※リレーバトン練習は 1→2 走 ・ 3→4 走は第2コーナー、
2→3 走は第3コーナーで行うこと。

各校で使用したリレーのマーク（テープ）は必ず取り除くこと。

【2日目】

○ホームストレート

3～6レーン = コーナーからのスプリント練習

7～8レーン = 直線からのスプリント練習

9レーン = 110mH

○バックストレート

3～7レーン = コーナーからのスプリント練習

8レーン = 女400mH 9レーン = 男400mH

- (5) メディシンボールなど、物を投げる練習は、競技場内を問わず長居公園内全体で禁止とする。
- (6) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

5. 招集について ※ 5/6は現地召集とし、50分前開始・40分前終了とする。

○招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

○下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

- (1) 招集場所は室内練習場とする。
- (2) 招集は競技開始時刻前の下記時刻で行う。

招集時間	トラック	跳躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	80分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	70分前

- (3) 競技者は招集開始時刻には招集場所にて上半身競技服装になり、競技者係より点呼を受け、アスリートビブス・腰ナンバーカードおよびスパイクピンの確認を受けてそのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の指示により移動すること。

- (4) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第1種目の招集開始時刻までに「多種目同時出場届」**を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならないが、提出をした第2種目は代理をたてる必要はない。
- (5) リレー種目について
- ・オーダー用紙は**第1組の招集完了時刻の60分前**までに競技者係へ提出すること。
 - ・リレーの一次招集は4人揃って受けること。ただし、他種目に出場している時は「多種目同時出場届」を提出することで、代理を立てる必要はない。
- (6) やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。

6. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4x400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。また、3000m・5000m・5000mWについては、1次招集を受けた後、別ナンバーカードを受け取ること。
- (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・(やり投)については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとするが、100m・200mは決勝レースを行う。
- (4) トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通ってスタート地点に帰ること。
- (5) 競技エリア内に通信機器(携帯電話等)やビデオ撮影機器(タブレット等)を持ち込んではいならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げ等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (6) 集団での声援(応援)及び不正な助言行動は自粛すること。
- (7) フィールド種目について
- ① トップ8を行う(ハンマー投・円盤投・やり投は、試技3投のベスト記録のみ計測とする)。
 - ② 跳躍種目はセクションラインを設ける(但し、走幅跳・三段跳は、1回は全員計測)。

走高跳【男子】1m50 【女子】1m25 走幅跳【男子】5m40 【女子】4m20

三段跳【男子】11m00 【女子】9m00
 - ③ 走幅跳・三段跳は1組(メインスタンド前トラック側)、2組(メインスタンド側)、3組(バックスタンド前※走幅跳のみ)で行う。走高跳は第一曲走路内側、棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。
 - ④ バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	現場判断 練	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以降 3cm
女 走高跳	現場判断 練	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降 3cm	
男 棒高跳	現場判断 練	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以降 10cm
女 棒高跳	現場判断 練	2m00	以降 10cm						

- ⑤ 投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。
- ⑥ 手拍子等の応援は**トップ8以降のみとする(スタートの妨げにならないように注意のこと)**。
- (8) フィールド競技の試技制限時間(単独種目)

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

- (9) 男 5000m・女 3000mは二段階スタートとする。グループ分けは出発係の指示に従うこと。競歩種目では、ラスト1周で男子 5000mW は 33 分 00 秒、女子 5000mW は 37 分 00 秒を超える選手は、競歩主任が競技を打ち切る。ハーフパンツでの出場は認めない場合もある。

7. 免責事項について

- (1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
(2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
(3) Jアラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある。

8. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
(2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
(3) 競技日程はプログラム記載のものを確認すること。HPにUPされているスタートリストの競技開始時間は参考なので、必ず競技日程を確認すること。
(4) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない。)
(5) 撮影は許可証(正面玄関入口で発行)を必要とし、当該生徒のみの撮影とする。
(6) 盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。
(7) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
(8) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)大会結果は、大阪陸上競技協会のWEB サイト(大阪高体連陸上競技専門部3・4地区)に記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。

中央大会への出場等について

1. 中央大会への出場制限

- (1) いかなる事情があっても、この地区予選会にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
※シード権は、葦音記載の各種目昨年度ランキング8位以内(女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投・競歩・混成競技は6位以内)の者に与えられ、シード権を有する種目にエントリーした選手は、この地区予選会に出場せずに中央大会に進出できる(参加料は顧問まで返金する)。ただし、エントリー時点で、シード権の放棄を申し出た者は、この地区予選会に出場できる。
- (2) 各種目(リレー・競歩を除く)3・4地区を合わせて記録上位者24名以内とシード権を持つ者が中央大会に出場できる。但し、次の①～④の種目においては、規定に従って中央大会に出場できる。
- ① 100m・200mは、予選各組1着と記録上位者合わせて48名で決勝レース(6組×8人)を行い、各組4着までの計24名を選出する。
② 混成競技は、エントリーした選手全員が中央大会に出場できる。
③ 競歩種目は、全地区の結果を合計し、記録上位者とシード選手の合計30名が中央大会に出場できる。
④ 女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は3・4地区を合わせて記録上位16名とシード選手が中央大会に出場できる。
⑤ 4×100mRはエントリーした全チームが出場できる。4×400mRは3・4地区合わせて記録上位32チーム以内とする。
- (3) エントリー人数(チーム)が、地区の最大枠24名・16名(32チーム)に満たなかった場合は、予選会の記録・欠場・コール漏れ・失格などに関わらず中央大会の出場権を取得する。よって、中央大会出場を辞退する場合は、下記の辞退手続きと同様に各地区主任へ申し出ること。その場合は、25位・17位(33チーム)以下から繰り上げ出場となる。なお、全体で48名になるように他の地区から不足人数を選出することもある。

2. 同記録が出た場合

- (1) トラック種目については、規則第167条に従い、1/1000秒の単位で判定する。それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。

- (2) 走幅跳・三段跳・砲丸投については、セカンド、サード記録で決定する。
- (3) 円盤投・ハンマー投・やり投・走高跳については、抽選により中央大会出場者を決定する。

3. 中央大会出場の辞退

- (1) 出場権獲得者で、中央大会出場を辞退する場合は、必ず辞退届を各地区主任へ提出すること。
- (2) 提出期限は地区大会期間中とする（3日目全競技終了時刻から15分後を締め切りとする）。
- (3) リレー種目のエントリーメンバーを変更する場合は、大会中にリレーメンバー変更届を本部に提出すること。

4. 申込方法

- (1) 出場校は、中央大会出場決定の旨を地区主任より通知を受けた後、「参加選手一覧表(学校長認知書)」を作成し、中央大会当日の学校受付時に提出すること。
- (2) 参加料は1人につきプログラム代500円（出場者全員責任購入）と1種目出場ごとに500円とする。なお、混成競技・リレー種目は1000円とする。納入方法は指定された振込用紙で事前に振込むこととする。
- (3) 地区予選会の期間中に辞退の申し出が無く、それ以降に、何らかの理由で中央大会に出場できない場合も、参加料・プログラム代は支払わなくてはならない。

以 上